

改革から成長へ

大阪市会議員 かくたに 庄一 (しょういち)



2025国際博覧会の大阪誘致へ!!



「大阪市会2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟」の幹事長に就任

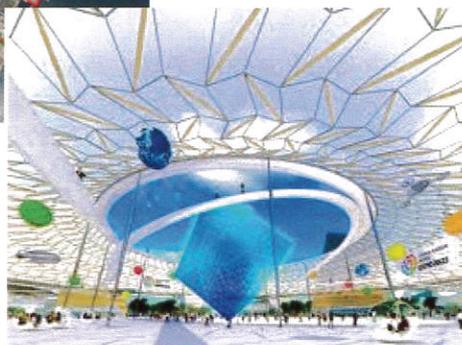
世耕弘成 経済産業大臣へ表敬訪問

2025大阪万博の開催計画

テーマ:いのち輝く未来社会のデザイン

会場:大阪湾の人工島「夢洲」

期間:2025年5月3日~11月3日(185日間)



万博×IRにより、大阪をさらなる成長へ!!

大阪市の無駄をはぶき、ただ緊縮政策だけをするのではなく、今迄の停滞した大阪から、成長する大阪へ着実に進めています。

2025大阪万博とIR(統合型リゾート)の誘致に向けてさらなる躍進する大阪を目指し。

また、今迄放置されてきた依存症へ現実路線で対策をめざしております。

<大阪万博会場イメージ>

地下鉄新会社 オオサカメトロ 4月発足！

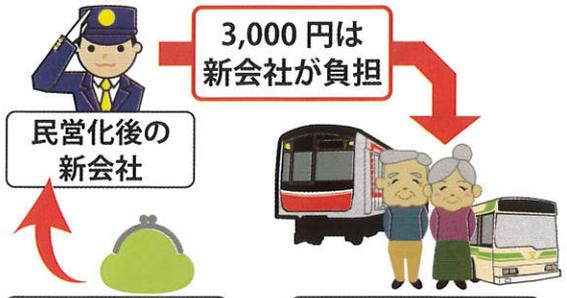
<愛称>

<ロゴ>



Osaka Metro

4月に「オオサカメトロ」が発足し、今年の7月から順次、更新時の敬老パスの3000円負担が無くなります。



福祉予算(大阪市)

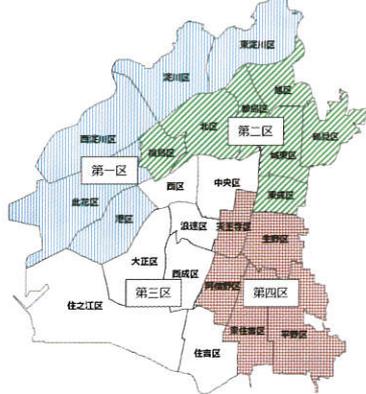
地下鉄・バス利用

敬老パスは、高齢者の乗車運賃を大阪市が利用者の代わりに税金を使い、交通局に支払う制度です。敬老パス予算はH25年には約80億円と市の財政負担が多額となり、利用者から年3,000円と乗車料金50円の自己負担をお願いしました。

交通局が民営化されたことで、新会社が敬老パスが使われれば、その分の運賃収入が増えることから、より多く利用して頂くため、新会社が年間3,000円の負担をします。

大阪都構想 区割り絞り込み

法定協議会で絞り込まれた特別区の区割り案



【第四区】

生野区・天王寺区
阿倍野区・東住吉区・平野区
大阪にふさわしい大都市制度について法定協議会が設置され議論されています。
なお、各区役所は地域自治事務所で残ります



【工業系高校再編についての質疑】

本市では、普通化系高校の再編を進めており、市立工業系高校の再編について吉村市長に質問をしました。市立5校のうち3校において志願率が厳しく、中退率も高くなっている。「選ばれる学校」に向けて再編の取り組みを進めていただくように要望し、市長は今後の工業系高校の再生に向けて、教育委員会に指示すると答弁がありました。



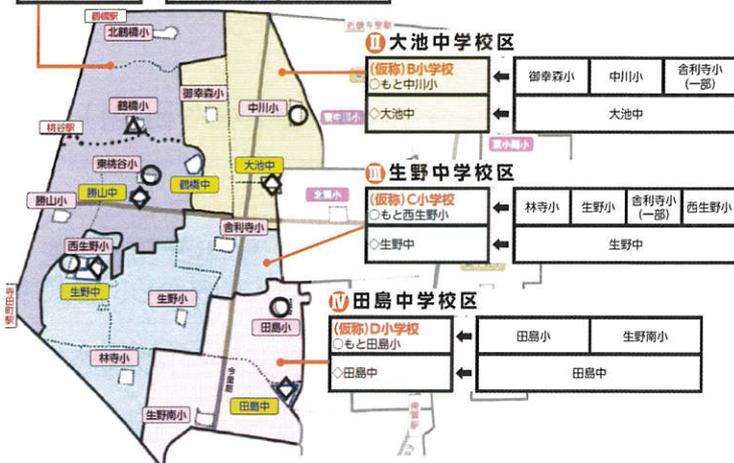
【学校寄付制度の創設】横浜市で実施されている寄付制度について委員会で質疑を行い、教育環境改善を実践していく中で、ふるさと納税の様に、地域や企業の方からも市立の学校を特定して寄付をする制度の創設を要望し、検討されることとなりました。

生野区西部地域学校再編整備計画

① 勝山中学校区及び鶴橋中学校区

(仮称)A小学校 ○もと東桃谷小	← 東桃谷小 勝山小 北鶴橋小 鶴橋小
(仮称)A中学校 ○もと勝山中 + △もと鶴橋小(第2運動場)	← 勝山中 鶴橋中

- 新たな小学校の施設として活用
- ◇ 新たな中学校の施設として活用
- △ 新たな中学校の第2運動場として活用



【子どもたちの教育環境改善を進める】

児童数の減少により小規模化する小学校が増加しており、教育環境の改善が急務です。教育委員会と区役所が連携しながら各中学校区で学校の再編整備に取り組むため準備会の設置をして地域と議論をしています。平成30年度予算案では田島中学校区・生野中学校区で校舍設計費が計上されました。私は教育委員会に対して学校が再編されるだけでなく、教育環境改善と教育の中身の充実・質の向上につなげていくため、「子どもファースト」で再編整備を進めることを要望しています。

市長は「来年度予算に再編に向けて新たな学校でのカリキュラムの検討のために教職員体制を充実する、教員配の予算計上をするなど先行的な投資も行う。」また、「子どもの教育環境の観点からさまざまなご意見があるのは承知しているが、子どもたちにとって何が重要かという観点で動くことが必要。教育委員会を最大限バックアップしたい。喫緊の課題である。」との答弁がありました。(平成30年3月19日 委員会質疑)